

令和2年度東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会
開催要領

東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会長
農研機構東北農業研究センター
畜産飼料作研究領域長 下司 雅也

1. 趣旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域畜産飼料作分野の試験研究を推進するため、農研機構東北農業研究センター、公設試験研究機関等の関係者が現場段階の技術的課題等について議論し、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方策について検討する。令和2年度は重点検討事項として、令和2年度東北農業試験研究推進会議研究戦略会議で戦略目標として取り上げられた「アフターコロナの農業技術研究と普及」について畜産飼料作分野における技術的課題と研究の推進を取り上げる。また、飼養管理指針が改訂されたことから、農林水産省よりアニマルウェルフェアについての説明をいただく。

また、推進会議終了後に大家畜分科会、中小家畜分科会、飼料作分科会の3分科会を設け、それぞれの部会におけるテーマについて専門家からの話題提供と意見交換を実施する。

2. 開催日時

・推進部会

令和3年1月26日（火）13：30～27日（水）12：00

・分科会

令和3年1月27日（水）13：15～16：00

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター）

推進部会：8階 会議室803号室

大家畜分科会：5階 会議室501号室A

中小家畜分科会：研修室810号室

飼料作分科会：5階 会議室501号室B

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 TEL：019-606-1717

4. 議題

1) 推進部会

(1) 話題提供「アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理等」

農林水産省生産局畜産振興課 課長補佐 白尾紘司

(2) 重要検討事項 「アフターコロナの畜産飼料作研究と普及」

① 各県の取り組み状況

② 総合討議

(3) 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討

(4) 主要成果の紹介および最新農業技術・品種202X候補の選定

(5) 令和2年度「主要新規試験研究計画」の検討

(6) その他

2) 分科会

(1) 大家畜分科会

(2) 中小家畜分科会

(3) 飼料作分科会

5. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、東北地域の各大学、その他推進部会長が必要と認める者。

参加者上限：推進部会50名、大家畜分科会22名、飼料作分科会22名、中小家畜分科会18名

6. 新型コロナ感染防止対策

新型コロナ感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、オンライン会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・参加人数は収容人数の概ね50%以下を目安としておりますので、出席者の人数を調整する場合があります。
- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方、政府から入国制限や入国後の行動制限が必要とされている国・地域等より帰国して14日を経過していない方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。
- ・会場入口に消毒液を用意しますので、入退室時の手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。

7. 連絡先

畜産飼料作推進部会事務局

農研機構東北農業研究センター 畜産飼料作研究領域 志水 学

Email : xx145130@affrc.go.jp

電話でのお問い合わせ : 019-643-3542

※ 資料提出などの詳細については、別途事務連絡いたします。